

機関番号：14301

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2010

課題番号：20530154

研究課題名（和文） 経済主体の異質性とマクロ経済動学

研究課題名（英文） Macroeconomic Dynamics with Heterogeneous Agents

研究代表者

三野 和雄（MINO, Kazuo）

京都大学・経済研究所・教授

研究者番号：00116675

研究成果の概要（和文）：

マクロ経済学では、依然として経済主体が同質であることを前提とする代表的家計モデルが中心的な役割を果たしている。本研究は、経済主体の異質性を明示的に考慮したマクロ動学分析を行い、同質な経済主体を前提にした従来の標準的理論がどのように修正されるかを検討した。特に、（1）世代重複モデルにおける世代間の消費の外部効果が生み出す影響、（2）無限視野を持つ家計に資産保有の異質性があるような成長モデルにおいて、消費の外部性が長期的な資産分配に及ぼす効果、（3）家計間の時間選好率や選好が異なる成長経済における財政・金融政策の効果、（4）2国間が非対称な場合の2国動学モデルのふるまい、を中心に検討を行った。いずれの場合も、家計の同質性を前提とする標準的な理論では見られない分析結果が得られ、代表的個人の仮定が、分析を簡明にする反面、現実の経済で生じている重要な現象のいくつかを捉え損ねる可能性が高いことを確認した。

研究成果の概要（英文）：

The representative agent model still plays a dominant role in macroeconomic analysis. In this research project we explore various models of macroeconomic dynamics in which there are heterogeneous households. More specifically, we have studied the following issues: (1) the role of intergenerational consumption externalities in overlapping generations economies; (2) the effects of consumption externalities on long-run wealth distribution in an economy in which households may hold different levels wealth; (3) the effects of fiscal and monetary policies in growing economies with heterogeneous households; and (4) behaviors of two-country dynamic model where each country may have heterogeneous preferences and/or technologies. In each topic, we have confirmed that heterogeneity of agents may produce significant outcomes that cannot be obtained in the representative agent settings.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2009年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2010年度	1,000,000	300,000	1,300,000
年度			
年度			
総計	3,000,000	900,000	3,900,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経済学・理論経済学

キーワード：家計の異質性、資産分配、経済成長、消費の外部性、均衡の決定性

1. 研究開始当初の背景

2005-2009年度に科学研究補助金（基盤研究（c））の援助を得て行った研究では、既存研究の方法に従い代表的家計モデルを用いて消費の外部性の効果を分析したが、家計が同質であるという仮定が強い制約になることを確認した。2008-2010年度の研究では、家計の同質性を仮定しないモデルを用いて、より一般的な設定の下で、マクロ動学分析の課題を再検討することを目指した。

2. 研究の目的

異質な家計の存在を前提としたマクロ動学モデルを用いて、経済成長のパターンと経済政策の効果を検討すること。

3. 研究の方法

異質な家計が存在する外生的、あるいは内生的成長モデルを用いて、消費の外部性の効果と財政・金融政策の効果を再検討し、代表的家計モデルの結果と比較をした。また同じフレームワークを国際経済モデルに適用し、標準的な既存理論の結果を再検討した。

4. 研究成果

(1) 世代間に消費の外部性が存在する世代重複経済モデルの動学的性質を分析し、家計が同質な代表的家計に消費の外部性を導入した場合とは大きく異なる結果が生じ得ることを確認した。

(2) 消費の外部効果に差がある異質な家計が存在する新古典派成長モデルを分析し、外部性の程度の差が、家計間の長期的な資産配分に大きく影響することを示した。

(3) 資産保有に差がある異質な家計が存在する貨幣的成長モデルを構築し、財政・金融政策が成長と資産配分に及ぼす効果を検討した。その結果、家計の同質性を仮定する場合とは異なる政策効果があることを示した。

(4) 資産保有に差がある異質な家計が存在する新古典派成長モデルに累進課税を導入し、課税の累進性の程度が長期的な家計間の資産配分とモデルの安定性（均衡の決定性）に与える効果を分析した。その結果、課税のパターンによっては、均衡の不決定性が生じ得ることを確認した。

(5) 技術水準に差がある2国成長モデルを分析し、2国間の異質性が世界経済の成長と動学的性質に与える効果を詳細に調べた。また貿易構造の差と資本移動の有無が均衡の決定性に及ぼす効果の大きさを確認した。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計10件）

(1) 著者名: Wolfgang Eggerd, Junichi Itaya and Kazuo Mino

題名: "A Dynamic Model of Conflict and Appropriation"

雑誌名: Journal of Economic Behavior and Organization

査読: 有

号数: 78

発行年 2011

ページ数: .167-182

(2) 著者名: Seiya Fujisaki and Kazuo Mino

題名: Growth and Distributional Effects of Inflation with Progressive Taxation"

雑誌名: Economics Bulletin

査読: 有

号数: 34

発行年 2011

ページ数: .3055-3065

(3) 著者名: Seiya Fujisaki and Kazuo Mino

題名: Long-Run Impact of Inflation Tax in the Presence of Maintenance Expenditures

雑誌名: Economics Bulletin

査読: 有

号数: 30

発行年 2010

ページ数: .30-38

(4) 著者名: Seiya Fujisaki and Kazuo Mino

題名: Long-Run Impact of Inflation Tax in the Presence of Multiple Capital Goods"

雑誌名: Economics Bulletin

査読: 有

号数: 29

発行年 2009

ページ数: .1649-1657

(5) 著者名: Kazuo Mino

題名: "Growth and Bubbles with Consumption Externalities"

雑誌名: Japanese Economic Review

査読: 有

号数: 59

発行年 2008

ページ数: .33-53

(6) 著者名: Kazuo Mino, Kazuo Nishimura, Koji Shimomura, and Ping Wang
題名: "Equilibrium Dynamics in a Discrete-Time Endogenous Growth with Social Constant Returns"
雑誌名: Economic Theory
査読: 有
号数: 34
発行年: 2008
ページ数: . 1-23

(7) 著者名: Junko Doi and Kazuo Mino,
題名: "A Variety Expansion Model of Growth with External Habit Formation"
雑誌名: Journal of Economic Dynamics and Control
号数: 32
発行年: 2008
ページ数: . 3055-3083

(8) 著者名: Kazuo Mino
題名: "Preference Structure and Volatility in a Financially Integrated World"
書名: International Trade and Economic Dynamics: Essays in Memory of Koji Shimomura, (Springer)
査読: 有
発行年: 2008
ページ数: 323-341

(9) 著者名: Daisuke Amano, Junichi Itaya and Kazuo Mino
題名: "Tax Incidence in Dynamic Economies with Externalities and Endogenous Labor Supply"
書名: International Trade and Economic Dynamics: Essays in Memory of Koji Shimomura, (Springer)
査読: 有
発行年: 2008
ページ数: 361-382

(10) 著者名: 三野和雄
題名: "インフレーションと経済成長: 消費の外部性が存在する場合,"
雑誌名: 国民経済雑誌
査読: 無
号数: 197
発行年: 2008
ページ数: . 19-34

[学会発表] (計 7 件)

(1) 発表者: 三野和雄
発表表題: "Equilibrium Dynamics and Growth Effect of Taxation in a Two-country World"
会議名: 4-th Asian Workshop in Economics
発表年月日: 2011年3月25日
発表場所: Academia Sinica (台湾)

(2) 発表者: 三野和雄
発表表題: "Globalization and Volatility under Alternative Trade Structures"
会議名: 19th Annual Symposium Society for Nonlinear Dynamics and Econometrics
発表年月日: 2011年3月11日
発表場所: George Washington University (USA)

(3) 発表者: 三野和雄
発表表題: "Tax Distortion and Equilibrium Dynamic in a Two-Country World"
会議名: 10th SAET Conference
発表年月日: 2010年8月15日
発表場所: Grand Copthorne Waterfront Hotel (シンガポール)

(4) 発表者: 三野和雄
発表表題: "Trade Structure and Indeterminacy of Equilibrium in a Two Country Model"
会議名: 2010 Taipei International Conference on Growth, Trade and Dynamics
発表年月日: 2010年6月17日
発表場所: Academia Sinica (台湾)

(5) 発表者: 三野和雄
発表表題: "Financial Integration and Indeterminacy of Equilibrium in a Two Country Model"
会議名: 4th Workshop on Macroeconomics Dynamics
発表年月日: 2009年8月1日
発表場所: シンガポール国立大学 (シンガポール)

(6) 発表者: 三野和雄
発表表題: "Financial Integration and Aggregate Stability"
会議名: Far Eastern Meeting of the Econometric Society
発表年月日: 2008年8月5日

発表場所：シンガポール国立大学（シンガポール）

(7) 発表者： 三野和雄

発表表題：Progressive Taxation and Wealth Distribution

会議名：9-th International Conference of the Association of Public Economic Theory

発表年月日：2008年6月28日

発表場所：ソウル国立大学

[その他]

ホームページ等

<http://www.kier.kyoto-u.ac.jp/~mino/index.html>

6. 研究組織

(1) 研究代表者 三野 和雄
(京都大学・経済研究所・教授)

研究者番号：00116675

(2) 研究分担者
()

研究者番号：

(3) 連携研究者
()

研究者番号：